

## 資料 1 セミナーの前に NUCT にアップロード

2020 年度基礎セミナーA 木曜5限(文理融合)

ご挨拶

(大橋厚子)

テーマ：名大の学生生活について知りたいことは何？

ご入学おめでとうございます。名古屋大学は皆さんを歓迎します。

新型コロナウイルスのために、大学の授業がどこでもものすごく変則的になっていて、驚いたり、不安になったりしている学生さんも多いと思います。このセミナーではその期待はずれな気持ち、不安やイライラをまずは NUCT の小テスト・クイズ機能にぶつけていただければと思います。

私、大橋厚子のプロフィールはもう一つのファイルにあります。よかったら「アホな野良猫」と呼んでください。ICT については本当にアホですから。。

このファイルでは、まず履修生の皆さんへこの授業の内容を説明します。

皆さんは他にたくさん授業を取らなければならないと思うので、このセミナーでは**大切なことを一つに絞ります**。

それは**質問する力をつける**ことです。

質問を作ってそれに自分で答えてみることを練習します。最初はうまくできなくても構いません。高校ではあまり練習していないと思いますから、最初は質問を選んで答えるところから初めて、、、でも7月の終わりころにはかなり上手になると思います。

教養教育院ホームページのシラバスには次のように書きました。

「高校生から大学生になると学校での生活は大きく変わります。楽しみにしていることもあると思いますが、不安なこともあるかと思います。このセミナーでは、まず参加者に、そのような期待や不安に関連して、大学での生活について知りたいことを具体的な質問として表現してもらいます。そして3～4人のグループでいろいろな質問のなかから一つを選び、答えを探して調査してゆきます。その際に仮説を立てて調べてゆき、その結果をグループで発表してディスカッションをします。こうして身近な話題を通して大学での学びの姿勢の基礎を身に着けることができます。」

でも、対面でのグループワークができなくなりました。そこでグループワークは、皆さんがしたかったら途中からすることにして、一人ひとりに質問する力をつけてもらおうと思っています。ただしこのゼミでつける力は、上にも書きましたように、ほかの人に質問する力

ではなく、自分で答えを出すための質問を作る力です。もう少し固い言葉で言うと「問いを立てる力」です。

**4月23日から少しづつ**始めます。23日の授業の時間（**16:30-**）にはNUCTの大橋の基礎セミナーのクラスを開いてくださいね。23日はNUCTを通してやり取りをし、授業時間の中でみなさんに簡単な自己紹介を書いてもらおうと思っています。自己紹介用の質問項目は大橋が用意します。今のところ質問を8つくらい考えていますが、単語で答えるだけでいいものが多いです。

22日くらいに「お知らせ」に質問をアップロードし、あわせて23日16:30からの授業の進め方も皆さんにお知らせします。

皆さんが良ければそのうちにZOOMなどでお話しできるといいですね。

ところで、もうひとつ大事なことがあります。**緊急事態対応**です。

アホな野良猫は老人、、、いえ老🐱ですから、急に音信不通になったりするかもしれません。そうでなくてもアホな野良猫やみなさんのパソコンやスマホが急に具合が悪くなると大変です。

1か月くらい音信不通になってしまう事態も考えておきましょう。

みなさんの方では、大橋（ohashi@gsid.nagoya-u.ac.jp）に連絡してください。もちろん連絡できなくてもいいです。1週間ごとの課題がオンタイムで提出できないとき用の**別の課題提出方法**を22日までに考えておきます。

もしアホな野良猫がトシかパソコンの問題で音信不通になってしまったら、、、その時のためにも緊急対應用課題をあらかじめ提示しておきます。

要は、この基礎セミナーは**課題をいくつかクリアして「問を立てる力」の向上**が見られれば単位を取れます。

それでは、23日に！

## 資料 2 セミナー当日の配布資料

4月 23 日の基礎セミナーA（大橋）

こんにちは。この一週間はどんな感じでした？ 慣れないことが多かったですか。  
課題ができたら、一番下の**来週からの春学期の暫定スケジュール**も読んでくださいね。万一の  
時にみなさんの強い味方になりますよ。皆さんの方にトラブルが発生したときにはまずは  
大橋 ohashi@gsid.nagoya-u.ac.jp にメールくださいね。

**4月 23 日基礎セミナーAの流れは以下のようです。**

**16 時半から 17 時まで:**

以下の自己紹介用の質問に答えて時間中の **17 時までに** (1) NUCT の基礎セミナーA の中  
の課題:**23 日の課題(自己紹介、質問、自己紹介への質問)**にアップロードしてください。

アップロードできなかったら、(2)メールの添付ファイルで大橋 ohashi@gsid.nagoya-u.ac.jp  
に送ってください。

(1) か (2) のいずれかの方法で出席になります。

### 自己紹介用の質問

- 1) 名前 (必須)
- 2) 名大の学部と学科 (必須)
- 3) 出身県
- 4) 高校での部活や趣味
- 5) 大学でやりたい勉強は何？なし？
- 6) 大学で入りたい部活やサークルは何？なし？
- 7) 名大在学中に大学に関係する以外のことでやりたいこと、自動車免許取得？バイト？  
何か資格を取る？趣味？
- 8) インターネットの環境はパソコン？スマホ？パソコンの場合ルーターはモバイル？  
(必須：ただしみんなに教えたくなければ大橋だけにメールしてください)
- 9) ZOOM を使っても大丈夫？ (必須：ただしみんなに教えたくなければ大橋だけにメー  
ルしてください)
- 10) アホな野良猫の大橋への質問や要望があったら受け付けます。

**17 時から 17 時半まで:**

**以下の A)か B)の方法で質問を作ってみましょう。できれば二つ以上。無理なら一つ。**

23 日の課題（自己紹介、質問、自己紹介への質問）にアップロードする。

**A) 面白い質問を作ってみましょう。**

たとえば、

★「野良猫」って日本語ではこのほかの言い方はほとんどないのに、英語では少なくとも二通りの言い方がある。あるいは定訳がないと言える。なぜだろう。

★小さな子供はよく、「なぜ」「どうして」と聞いてきますが、その中には面白いものがあります。自分がした質問や、ほかの子供がした質問で覚えているものを書いてください。

★NHK 番組の「チコちゃんに叱られる」みたいな質問を作る。作れなかったら覚えている面白いものを書く。

**B) 大学への不安や期待はずれな気持ち、不満を書いてから、質問をひとつ書く。大学について難しければ、現在の日常生活についてでもいいです。**

★○○○○。。。。大学って、結局何するところ？ わかんない。

★○○○○。。。。マスクっていつしなきゃいけないの？

**17 時半から 18 時**

大橋がお知らせにアップロードしたファイルにあるほかの参加者の自己紹介を読んで質問を 3 つ書いて「23 日の課題（自己紹介、質問、自己紹介への質問）」にアップロードする。

質問の例。できれば、なぜ、どうしてと言う質問を作ってみてください。

△△さんは、××県出身だそうです。僕もそうです。何市ですか。

○○さんの部活は△△だそうです。どうして△△を選んだのですか。

□□さんの趣味は○○だそうです。なぜですか。どういうところが好きなのですか。

**来週からの春学期の暫定スケジュール**

大橋が病気などで NUCT や皆さんのメールに回答がなくなった時は、それぞれの授業日の課題をこなして、[ohashi@gsid.nagoya-u.ac.jp](mailto:ohashi@gsid.nagoya-u.ac.jp) まで送っておいてください。

（暫定スケジュールは省略：各週の課題を 3 行ほどで書き、セミナーの全体構成を示した。）

## 基礎セミナーA 4月30日

### Zoom 使用に関する情報

(省略)

(各履修生の自己紹介と自己紹介への質問、昨年度までの履修生の疑問質問の例背を別途配布)

**4月30日の授業の目的：**疑問・質問の合計を7、8個以上にする

### 授業の流れ：

緊急事態対応についての確認

**グループセッション**                      1グループ    4人で20分を3セッションの予定

自己紹介、自己紹介への質問、疑問質問（ほかの3つの添付ファイル）を見ながら互いの自己紹介とそれへの質問からスタート、好きなことをしゃべって発散してよい。

基本条件：4月23日に作ったA)とB)に関する質問と、4月30日に作る質問を合計して、7・8個以上にする。

20分過ぎたらZOOMが自動的にグループの組み換えをする。

### グループセッション後

大橋の送るメールを見て疑問質問が調査に向いているかどうか調べる。

全部向いていなくても構わない。

4月30日の課題へ質問・疑問をアップロード。

グループセッション後も17時55分までは新たなグループ割をしておくので、作業をしながらおしゃべりをして構わない。

5月14日のハンドアウト（ゴールデンウィーク後）

## Zoom インフォメーション

### 5月14日の課題

- 1) 自分が調べたいと思う質問を一つ選ぼう。
  - 2) 選んだ質問（1つ）を2つか3つの、より具体的な小さな質問に分解してみよう。
- ハンドアウト 2 参照
- 小さな質問は具体的調査方法を考えながら（異なる調査方法を組み合わせても楽しい）

### 授業の流れ

17:00 ころまで：1)と2)を一人でやってみる。できれば質問を選んだ理由を書く  
17:00 ころから：グループで意見交換。（質問を選んだ理由があるとアドバイスしやすい）  
3人×4グループあるいは4人×3グループ 20分×2回  
17:40 ころから：個人で修正を加え、NUCT「5月14日の課題」にアップロード  
アップロードできなかったら大橋へ直接メールする

### 資料を探すための URL

名古屋大学附属図書館 web サイト

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

[左側の「資料を探す」を使う](#)

#### 新聞記事

名古屋大学附属図書館 web サイト

左側の「クイックリンク」→「論文・記事を探す」→新聞記事

#### 統計

「政府統計の総合窓口」 →世界各国の基本統計も

<https://www.e-stat.go.jp>

### 学術論文を探すとき

Google scholar

名古屋大学附属図書館 web サイト

左側の「クイックリンク」→「論文・記事を探す」→学術論文

### 初歩的なアンケートとインタビュー調査の URL

#### アンケート調査

(URL 省略)

#### インタビュー調査

(URL 省略)

## Zoom インフォメーション

### 5月21日の課題

- 1) 選んだ質問（1つ）を2つか3つの、より具体的な小さな質問に分解してみよう。  
小さな質問は3つまで（今回の調査時間は2週間であることに注意）  
小さな質問には具体的調査方法を書く（小さな質問は、大きな質問より大きくしない）  
実現可能性に注意
- 2) 既に1ができている人は、調査方法をより具体的に書く。  
例えば：誰に何人にアンケート？ アンケートの具体的質問は？  
資料集めにどんな web サイトが使える？

### 調査できそうな例

A:料理の際の"少々"を、みんなはどのように認識しているのか

- (1) "少々"の量を、どこからどのくらいまで許容できるか  
▷材料を段階に分けた量の写真を撮り、どこからどこまでを少々と呼んでもいいと思うか  
アンケートをとる
- (2) 少々という場合に、自信はいつもどのくらい入れるか  
▷上記と同じ写真を使い、アンケートをとる
- (3) どのような手段（直接、手、計量スプーン、普通のスプーンなど）で入れているか  
▷ウェブ、アンケート

B:ジェットコースターを怖いと感じる人と感じない人がいるのはなぜか。

- (1) ジェットコースターを怖いと感じるか（アンケートをとる）
- (2) （怖いと感じる人に対して）どこが怖いか、どんな感覚が怖いのか
- (3) （怖くない人に対して）ジェットコースターに乗っている間どう感じるのか、  
怖いと感じる人が（2）で答えたことについてどう思うか。

### おいしい、もうちょっと！の例 （調査方法の明示が必要）

C:友達の定義とは？

- ・どこからが友達のラインと言えるか？  
→一般の人々の捉え方を知るため。
- ・辞書の「友達」の意味  
→一般に定められている定義を知るため
- ・お互いに承認していないとなれないのか？それとも一方がそう思っていればいいのか？

→人それぞれの価値観を調べるため

D: コロナ終息後もオンライン授業を続けていくべきか (調査方法を明示)

生徒目線から見てどんなメリットデメリットがあるか

教授から見てどんなメリットデメリットがあるか

## 5月21日の授業の流れ

17:00 ころまで: 1)あるいは2) を一人でやる。大橋への質問はで何時でもどうぞ。

17:00 ころから 17:20 ころまで:

できたところまでグループで意見交換 (主に実現可能性についてアドバイスしあう)

4人×3グループあるいは3人×4グループ 可能ならば追加課題を話す

17:20 ころから 17:40 ころまで 別グループで意見交換 大橋が各グループ7分くらい参加  
可能ならば追加課題を話す

17:40 ころから: 個人で修正を加え、できたところまでを NUCT「5月21日の課題」にアップロード

**追加課題:「課外活動」の是非:**「基礎セミナーA」以外の時間で12人で話す時間が欲しいかどうか書く。一番簡単なのは木曜18時以降。その他でも大橋は協力可能。12人を1グループにして大橋は入らない。

アップロードできなかつたら大橋へ直接メールする

1) が仕上がらないと宿題となる。

18:00-18:30 12人全員を1グループにして「放課後」を作ってみる 参加は自由



## 基礎セミナーA 5月28日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 5月28日の課題

調査を開始し、6月10日（水曜日）までに「基礎セミナーA フォーム」を記入・提出できるように計画を立てる。（フォームはハンドアウトの後半に添付）

もちろん6月4日の授業終了時に提出してよい。

「フォーム」提出の比重は高校の中間テストと小テストの中間から少々小テスト寄り

\* 大学入試（「フォーム」記入・提出）までの勉強計画と実行を思い出して。

#### A. アンケート・インタビュー調査：

用紙の作成と配布者のリストアップ 既にできている人は配り始める。

既にアンケートがほとんど完成している人は、答えの予想をして書いてみる。

インタビューも同様

#### B. web ページ閲覧での調査：

web の存在と書かれている内容を確認しながら、必要があれば質問を修正する。

←必要な資料が得られない場合、ありすぎる場合は、質問の方を変更せざるを得ない。

経過報告（今日何をしたか：3～4行）と来週の授業終了までの計画（何をすると時間配分：3～4行）とを作成。アップロードする。期限はいつも通り。

#### 5月28日の授業の流れ

17:00 ころまで：作業を一人でやる。大橋への質問はで何時でもどうぞ。

17:00 ころから 17:30 ころまで：

グループで意見交換、おしゃべり、各自作業など 4人×3グループ

大橋が参加して何をしているか各自に聞く

17:30 ころから 17:55 ころまで 別グループで意見交換他 大橋が各時に質問

今日の課題を NUCT「5月28日の課題」にアップロードは 17:55 以降いつでも。

アップロードできなかったら大橋へ直接メールする

18:00-18:30 12人全員を1グループにして「放課後」 参加、退出時間は各自の自由

## 「基礎セミナーA フォーム」(:[コロンの後を埋める)

テーマ・トピック：

はじめに

選んだ理由：1～3文でよい。

大きな質問：

小さな質問 1：

小さな質問 2：

小さな質問 3：

小さな質問 1 について

小さな質問 1：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：**3行くらいで！** 予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

小さな質問 2 について

小さな質問 2：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：**3行くらいで！** 予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

小さな質問 3 について

小さな質問 3：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：**3行くらいで！** 予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

大きな質問への答え：

小さな質問 1、2、3 の調査結果をもとにして大きな質問への答えを書く 3 行くらいで。

大きな質問にも答えの予想を書いておくとき楽

資料：あれば。アンケート用紙、web の図表などをつける。

## 基礎セミナーA 6月4日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 6月4日の課題

調査を続け、6月10日（水曜日）までに「基礎セミナーA フォーム」を記入・提出できるように作業する。もちろん今日の授業終了時に提出してよい。

作業量が少なかった者は追加の作業をする。

web ページ閲覧での調査：

web の存在と書かれている内容を確認しながら、必要があれば質問を修正する。

←必要な資料が得られない場合、ありすぎる場合は、質問の方を変更せざるを得ない。

「基礎セミナーA フォーム」をアップロードする。期限は6月10日まで

アップロードできなかったら大橋へ6月10日までに直接メールする

#### 6月4日の授業の流れ

大橋への質問はで何時でもどうぞ。

17:00 ころまで：グループで意見交換、おしゃべり、各自作業など

4人×3グループ

大橋が参加して何をしているか各自に聞く。

17:00 ころから 17:30 ころまで：

17:30 ころから 17:55 ころまで：

6月11日からは別テーマで同じ作業をする。3人一組のグループワーク？

## 基礎セミナーA 6月11日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 6月11日の授業の流れ

- 1) 今学期最後までの授業の流れと課題を理解する。
- 2) 3人一組のグループを作る。全員理系あるいは文系、全員女性、あるいは男性は不可。
- 3) 調査トピックを個人で2つほど考えてみる。実現可能性、メリット・デメリット
- 4) グループ・トピックの相談を始める。まず3つ候補を選んでみる。

自由参加の放課後 30 分

#### グループワークで身につけておくべきスキル これからの変化の時代に大切 就活

多様な意見を出す、多角的な視点からものを見る（ほかの意見に耳を傾ける）

合意形成：多様な意見をまとめる。ポジティブな妥協

実現可能性、メリット・デメリットを考える 目的をクリアに（何のため？）

チームワークの経験（団体競技の部活と同じ）：役割分担の仕方

#### 6月11日のアッフルロード課題

- 1) 個人で考えたグループ・トピックとその理由
- 2) グループ・トピックの相談がどこまで進んだか。どれが候補か、選んだ理由。
- 3) 最終候補が決まっていたら書く。決まっていなくても問題なし。

#### 今学期の最終成果物

グループワークのフォーム（発表用） 別ファイル （資料3として添付）

個人レポートのフォーム（個人成績用） 別ファイル （資料3として添付）

#### 今後の作業の目安

- 6月11日 3人のグループを決める、グループ・トピックを話し合う
- 6月18日 グループ・トピックを決める。大きな質問を作る（予想）
- 6月25日 個人トピックを決める。各人が小さな質問を2つ作る（予想）調査計画提出
- 7月02日 調査
- 7月09日 調査
- 7月16日 個人の結論を持ち寄ってグループの結論を作成
- 7月30日 プレゼン（パワポかハンドアウト） レポートの提出可能

## 基礎セミナーA 6月18日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 6月18日の授業の目標

- 1) グループ・トピックを絞り込む。できれば授業の最後までに1つに絞る。
- 2) 絞り込んだ理由を書く。実現可能性、メリット・デメリット
- 3) 一つに絞れたグループは質問（リサーチ・クエスチョン）を作りはじめる。
- 4) 時間のあるグループはグループ名を考える。
- 5) 時間のあるグループは個人のテーマを考え始めてもよい。

#### 6月18日のアップロード課題

各人が本日の作業（何をしたか）を NUCT に書き込む（ファイルアップロードでも可）

#### 6月18日の授業の流れ

グループワーク I (-17:10) 大橋が数分ずつ参加

全体で各グループの経過報告 (17:10-17:20)

グループワーク II (17:20-17:50) 大橋が数分ずつ参加する可能性

全体で各グループの経過報告 17:50

30 分放課後

#### 全体時間でのグループ報告をする理由

- 1) グループ外の人に解るように短い説明をすると思考が整理される。
- 2) ほかのグループのアイデアや進み具合を知ることができる。比較、採用

#### グループテーマを決める際に注意すること

- 1) 複数の中から選び時間を選ぶのに時間がかかる理由 結婚相手を見つけるのと同じ
- 2) グループ全員がそこそこ興味を持てること。そうでないと学期末まで続かない。
- 3) メリット・デメリットを考えて選ぶと、先に弱点も解っているので対処しやすい。
- 4) 複数候補の中から優先順位をつけて選ぶ  
→第一候補が何かの理由でダメになってもすぐ別の候補に代えられる←作業期間の短さ
- 5) 学期末までに結果が出せるか。実現可能性。
- 6) 具体的テーマ3つに分解できるかどうか。場合によって2つに分解でもよい。  
→いくつかの（相反する）要因を合わせて優先順位を考える練習。

#### グループ・ネーミング（省略：ネーミングする意義を説明）

## 基礎セミナーA 6月25日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 6月25日の授業の目標

- 1) 小さなリサーチ・クエスションと作業仮説をできれば作り終える。
- 2) 絞り込んだ理由を書く。調査実現可能性、仮説検証可能性。
- 3) 時間のあるグループは調査を始めてよい。

#### 6月25日のアップロード課題

グループ内の一人が2ページ目のフォームに書き込みをしてNUCTにアップロードする。

#### 6月25日の授業の流れ

グループワーク I (-17:05) 大橋が数分ずつ参加  
全体で各グループの経過報告 (17:05-17:15)  
グループワーク II (17:15-17:40) 大橋が数分ずつ参加する可能性  
全体で各グループの経過報告 (17:40-17:50)  
30分放課後

#### ハンバーガーのバンスを消さないために

- 1) 計画段階で仮説同士の関係を設計しておく (分析 1)  
→ 3つの小さな作業仮説の検証結果が大きな作業仮説を検証できるようになっている。  
→→ 3つの小さな作業仮説のレベルを揃える

例：人類の食糧は充分足りているのか？ ←将来食糧危機の可能性←気候危機

小さなトピックの分け方 最も簡単な例、そのほかにもいろいろある

時間：奈良・平安時代、鎌倉から江戸時代、近代

地域：東アジア、ヨーロッパ、アフリカ

分野：政治（政治家の意識）、経済（企業人の意識）、社会（普通の人の意識）

× ：原因、未来の予測、解決策 迷子になって（下の）バンスが消える。

大切だし、調査中は一生懸命で気が付かない。

- 2) 調査後の作業仮説やリサーチ・クエスションの調整 (分析 2)

でも手の施しようのないものも。“あたし、何しているんだっけ”(10年前の修士学生)

失敗でも経験しておくのと役に立つ。

## 6月25日アップロード用フォーム

グループ名：

グループの調査トピック：

グループトピックを選んだ理由：1～3文でよい。

大きなリサーチ・クエスチョン：

大きなリサーチ・クエスチョンの作業仮説：

グループメンバーA（担当者名）の

小さなリサーチ・クエスチョン：

作業仮説：

調査方法：

グループメンバーB（担当者名）の

小さなリサーチ・クエスチョン：

作業仮説：

調査方法：

グループメンバーC（担当者名）の

小さなリサーチ・クエスチョン：

作業仮説：

調査方法：

## 基礎セミナーA 7月2日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 7月2日の授業の目標

- 1) 小さなりサーチ・クエスチョンと作業仮説を作り終える。
- 2) 調査開始

#### 7月2日のアップロード課題

各人が先週のフォームに自分の調査の進捗状況を記入して NUCT にアップロードする。

#### 7月2日の授業の流れ

グループワーク I (-17:05) 大橋が数分ずつ参加  
全体で各グループの経過報告 (17:05-17:15)  
グループワーク II (17:15-17:40) 大橋が数分ずつ参加する可能性  
全体で各グループの経過報告 (17:40-17:50)  
30 分放課後

#### 皆さんに渡したフォーム3種、とくに前半の課題記入用として渡したフォームはコスパがいい

- 1) 大学1年のレポートから卒論、修論、博士論文（文系）まで使える基本形。US  
Tree part essay format  
Journal format (Introduction, Conclusion, Body=Data Analysis)
- 2) 多様なバックグラウンドの相手に理解しやすい文章＝就職後もアレンジして使える。
- 3) 変化の時代を生き延びるために質問力と OS バージョンアップ力を鍛えることができる。  
←→日本のお家芸のパターンを真似する力＝アプリインストール力（専門） ↑「地頭」

#### 論理(学問)の最も基本

最近はこの機能を失ってしまった人がいる (一部省略)

Compare: to consider two or more things, people, idea, etc, in order to show how they are similar to or different from each other.

↓ 比較するための基本ルール

Statement (陳述文) をつなぐ logic は and, but, because しかない。そのほかはただの説明。

2, 3 歳でも使用可能。

こちらの窓から月が一つ見える。and あちらの窓から月が一つ見える。

because 月が2つあるからだ。原因の推論。

→次の課題：月は一つなのにどうしてあっちとこっちの窓から一つずつ見えるのだろう。

なぜと尋ねて親を困らせる。チョコちゃんも！



←→親や先生の指示にひたすら従う。Web 入力の指示にひたすら従う。

目的（何のために作業するか）をはっきりさせる。（リサーチ・クエスション、調査の意義）

情報収集

情報を揃えて並べる logical framework いろいろある。Web 上にも

比較する クライテリア、indicator もいろいろ用意されている。

場数が大事。たとうまくいかなくても前の経験が役に立つ。

悪知恵（もちろん良い知恵も）何回も絞っているうちによく出るようになる。

必要は発明の母

Research question の有効性（向き不向きがあるけれど） ハワイ大学で授業参観したとき。

的確な質問ができる能力を磨いておくと得。少なくともアメリカ人に評価される。

理由：的確な質問ができたなら、調査研究は半分終わり。

慣れてくると自動的に良い答えと研究方法が向こうからやってくる。

## 基礎セミナーA 7月9日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 7月9日の授業の目標

- 1) 調査開始をほとんど終える 30日は1グループ15分の発表:シンプル・クリア  
グループ発表用フォーム、またはパワポを共有

#### 7月9日のアップロード課題

各人が先週のフォームに自分の調査の進捗状況を記入して NUCT にアップロードする。

#### 7月9日の授業の流れ

グループワーク I (-17:05)

全体で各グループの経過報告 (17:05-17:20)

グループワーク II (17:15-17:40)

全体で各グループの経過報告 (17:40-17:50)

30分放課後あるいはグループワークの続き

#### 調査中の注意点 (一部省略)

いつも心のなかに目的を＝何のために作業するかははっきりしていること

グループメンバーとのすり合わせも役に立つ

←調べものに夢中になって迷子になりがち。皆さんの先輩たちの経験

フォームを使用した調査は場数が大事。たとうまくいかなくても前の経験が役に立つ。  
悪知恵（もちろん良い知恵も）何回も絞っているうちによく出るようになる。Build in

## 基礎セミナーA 7月16日のハンドアウト

### Zoom インフォメーション

#### 7月16日の授業の目標

- 1) 1グループ15分の発表の準備をする：グループ発表用フォーム、またはパワポを共有作業が残ってしまったら宿題になる。

#### 7月16日のアップロード課題

各人が先週のフォームに自分の作業の進捗状況を記入して NUCT にアップロードする。

#### 7月16日の授業の流れ

グループワーク I (-17:15)

全体で各グループの経過報告 (17:15-17:20)

グループワーク II (17:20-17:50)

全体で各グループの経過報告 (17:50-18:00)

30分放課後あるいはグループワークの続き

#### パワーポイントスライド使用のメリットとデメリット

##### メリット

ビジュアルに訴える 写真や表がきれい

一般、専門課程など大体何でも向く

##### デメリット

一覧性がない。図表以外は一枚に載せられる情報が意外と少ない。

→スライド同士の論理性が見えにくい→非論理発表ができてしまう。ごまかせる。

発表を聞く人が発表の論理構造をよく知らない場合は話の筋が見えにくくなる。

既存のものとかかなり違う新しい論理フレームワークを提出するとき

パワポスライド(図表・写真)と word のハンドアウトの共用

ただし：

皆が順番や論理の構造を共有しているものは問題なし。 Ex.アマゾンの web サイト入力

図表が勝負の専門(理系に多い)は問題なし。

注意：見出しに数字を降ること 見出しの最初と最後。ページ番号も必須

2.3 ××× (1)      2.3 ××× (2)

基礎セミナーA 7月30日のハンドアウト

## **Zoom インフォメーション**

### **7月30日の授業の流れ**

- 1) 1グループ15分の発表と5分の質疑応答。
- 2) 発表順は Trees、チーム柑橘類、わるしよりのよろし、ぐーとちょきとぱー。
- 3) 本日の授業の最後から個人レポートの提出可能。

自由参加の放課後30分

### **7月30日のアップロード課題**

なし

### **今学期の最終成果物**

グループワークのフォーム（発表用） 提出義務ではないが、来学期に生かすためにメール送付歓迎。

個人レポートのフォーム（個人成績用）提出必要 7月30日より提出可能

レポート締め切り：8月16日 23:59 メール添付で大橋へ

すぐに対応できるので（受け取りの返事を出す）。心配だったら NUCT の「期末レポート」にもアップロードする。

## 資料3

### 基礎セミナーA 個人レポート・フォーム

グループの調査トピック

(グループ名)  
学生番号・名前

#### 1. はじめに (グループの作業部分)

グループトピックを選んだ理由：1～3文でよい。

大きな質問：

(できたら答えの予想)

グループメンバーAの質問：

グループメンバーBの質問：

グループメンバーCの質問：

#### 2. 個人の調査結果

個人の質問：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

- ・個人の小さい質問1 (これにも予想を書いておくと楽)

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：3行くらいで！予想を書いておくと当たりはずれを簡単に書いて楽

- ・個人の小さい質問2 (これにも予想を書いておくと楽)

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：3行くらいで！予想を書いておくと当たりはずれを簡単に書いて楽

個人の質問の答え：A1とA2の調査結果(答え)からAの答えを導く

個人の最終結論も3行くらいにしておくとグループでの作業が楽

#### 3. おわりに:グループの質問への答え (グループ作業部分)

グループメンバーA,B,Cの調査結果をもとにして大きな質問への答えを書く

5行くらいで。大きな質問にも答えの予想を書いておくと作業が楽

答えの予想が外れた部分の理由を考えて、書く。

資料：あれば。アンケート用紙、webの図表などをつける。

## 基礎セミナーA グループ発表用フォーム

グループ・トピック

グループ名とメンバー全員の名前

### 1.はじめに

トピックを選んだ理由：1～3文でよい。

大きな質問：

（できたら答えの予想）

グループメンバーAの質問：

グループメンバーBの質問：

グループメンバーCの質問：

### 2. グループメンバーAの調査結果

グループメンバーAの質問：（もう一度記入）

調査前の答えの予想：できるだけ書く

- ・個人の小さい質問A1（これにも予想を書いておくと楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくと当たりはずれを簡単に書けて楽

- ・個人の小さい質問A2（これにも予想を書いておくと楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくと当たりはずれを簡単に書けて楽

グループメンバーAの質問の答え：A1とA2の調査結果（答え）からAの答えを導く

個人の最終結論も3行くらいにしておくとグループでの作業が楽

### 3. グループメンバーBの調査結果

グループメンバーBの質問：（もう一度記入）

調査前の答えの予想：できるだけ書く

- ・個人の小さい質問B1（これにも予想を書いておくと楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくと当たりはずれを簡単に書けて楽

- ・個人の小さい質問B2（これにも予想を書いておくと楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくとき当たりはずれを簡単に書いて楽  
グループメンバーBの質問の答え：B1とB2の調査結果（答え）からBの答えを導く  
個人の最終結論も3行くらいにしておくときグループでの作業が楽

#### 4. グループメンバーCの調査結果

グループメンバーCの質問：（もう一度記入）

調査前の答えの予想：できるだけ書く

- ・個人の小さい質問C1（これにも予想を書いておくとき楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくとき当たりはずれを簡単に書いて楽

- ・個人の小さい質問C2（これにも予想を書いておくとき楽）

調査方法：

web調査の場合は出典のURLと選んだ理由：（信頼性の根拠）

調査結果（まとめ）：3行くらいで！予想を書いておくとき当たりはずれを簡単に書いて楽

グループメンバーCの質問の答え：C1とC2の調査結果（答え）からAの答えを導く

個人の最終結論も3行くらいにしておくときグループでの作業が楽

#### 5. おわりに：グループの質問への答え

グループメンバーA,B,Cの調査結果をもとにして大きな質問への答えを書く

5行くらいで。大きな質問にも答えの予想を書いておくとき作業が楽

答えの予想が外れた部分の理由を考えて、書く。

資料：あれば。アンケート用紙、webの図表などをつける。

「**基礎セミナーA フォーム**」(：[コロン]の後を埋める)(5月28日配布)

**テーマ・トピック:**

**はじめに**

選んだ理由：1～3文でよい。

大きな質問：

小さな質問 1：

小さな質問 2：

小さな質問 3：

**小さな質問 1について**

小さな質問 1：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：3行くらいで！予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

**小さな質問 2について**

小さな質問 2：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：3行くらいで！予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

**小さな質問 3について**

小さな質問 3：(もう一度記入)

調査前の答えの予想：できるだけ書く

調査方法：

web 調査の場合は出典の URL と選んだ理由：(信頼性の根拠)

調査結果(まとめ)：3行くらいで！予想を書いておくときあたりはずれを簡単に書いて楽

**大きな質問への答え:**

小さな質問1、2、3の調査結果をもとにして大きな質問への答えを書く 3行くらいで。

大きな質問にも答えの予想を書いておくとき楽

**資料:** あれば。アンケート用紙、web の図表などをつける。